



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部本部長 (氏名) 佐塚 真弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 9,826 | △3.4 | 366 | △34.6 | 496 | △20.2 | 335 | △11.4 |
| 26年3月期第2四半期 | 10,175 | 1.8 | 561 | △6.4 | 622 | △2.0 | 378 | △6.6 |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 518百万円 (△1.7%) 26年3月期第2四半期 527百万円 (44.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 12.48 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 14.07 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 21,556 | 15,146 | 68.7 |
| 26年3月期 | 21,370 | 14,821 | 67.6 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 14,807百万円 26年3月期 14,435百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 9.00 | 9.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 9.00 | 9.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|------|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 21,000 | 4.2 | 850 | 4.9 | 960 | △3.1 | 600 | 0.9 | 22.34 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 27年3月期2Q | 29,748,200 株 | 26年3月期 | 29,748,200 株 |
| 27年3月期2Q | 2,890,022 株 | 26年3月期 | 2,889,839 株 |
| 27年3月期2Q | 26,858,308 株 | 26年3月期2Q | 26,884,479 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算短信のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引上げに伴う景気反動もみられたものの、政府の経済政策や金融政策の効果により、円安、株高傾向が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

この様な環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。特にタイのイヌリン製造連結子会社 (Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.) においては、安定的な製品供給のため、品質維持向上や現地スタッフの教育育成などに注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,826百万円 (前年同期比3.4%減)、営業利益366百万円 (同34.6%減)、経常利益496百万円 (同20.2%減)、四半期純利益335百万円 (同11.4%減) となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖の業績につきましては、売上高6,339百万円 (前年同期比5.2%減)、営業利益585百万円 (同3.6%減) となりました。売上高は、採算性重視の営業活動により、販売単価は上昇したものの、消費税率引き上げによる反動と夏場の天候不順などから菓子類や清涼飲料向けが低調な荷動きとなり、上白糖や液糖を中心に前年同期の販売数量を下回り減収となりました。利益面では、採算性重視の営業活動を行ったものの、販売数量が減少したことにより、減益となりました。

② 機能性素材

機能性素材の業績につきましては、売上高3,188百万円 (前年同期比0.0%増)、営業損失144百万円 (前年同期営業利益43百万円) となりました。売上高は、機能性素材全体としては前年同期並みとなりました。機能性食品素材「イヌリン」はユーザー向けの販売が思うように伸びず、前年同期並みの販売数量となりました。切花活力剤キープフラワーは花卉業界が低迷するなか、消費税率引き上げによる反動もあり、販売数量は前年同期を下回る結果となりました。連結子会社ユニテックフーズ株式会社はOEM受託の不振などにより若干ながら前年同期を下回りました。利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd. において、当期に本格稼働をスタートさせたものの、安定生産までの費用が先行し営業損失となった結果、減益となりました。

③ 不動産

不動産の業績につきましては、売上高299百万円 (前年同期比0.3%減)、営業利益265百万円 (同2.4%増) となりました。所有不動産の稼働率及び維持管理費は概ね計画どおり推移しており、安定収益として貢献いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、21,556百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.7%減少し、8,267百万円となりました。これは主に現金及び預金、原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、13,289百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ8.0%減少し、3,437百万円となりました。これは主に仕入債務の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ5.7%増加し、2,972百万円となりました。これは主に長期借入金の増加及び固定負債「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、15,146百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ281百万円減少し、2,214百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、44百万円(前年同期689百万円収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上があったものの、仕入債務の減少及び法人税等の支払額があったこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、129百万円(前年同期比75.7%減)となりました。これは主として、長期貸付金の回収による収入があったものの、有形固定資産の取得による支出、長期貸付けによる支出等があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、111百万円(前年同期比241.2%増)となりました。これは主として、長期借入れによる収入があったものの、配当金の支払額、長期借入金の返済による支出等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日付け公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が73,818千円減少し、利益剰余金が47,538千円増加しております。また、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,111,695 | 1,843,066 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,451,842 | 2,369,311 |
| 有価証券 | 385,719 | 372,934 |
| 商品及び製品 | 1,279,058 | 1,514,440 |
| 仕掛品 | 109,595 | 213,159 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,097,743 | 810,134 |
| その他 | 1,152,281 | 1,148,013 |
| 貸倒引当金 | △3,282 | △3,403 |
| 流動資産合計 | 8,584,653 | 8,267,658 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 679,664 | 1,039,489 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 158,279 | 1,645,041 |
| 土地 | 2,048,834 | 2,048,834 |
| 建設仮勘定 | 1,658,701 | 303 |
| その他(純額) | 91,041 | 107,108 |
| 有形固定資産合計 | 4,636,521 | 4,840,777 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 685,798 | 631,804 |
| その他 | 99,888 | 92,900 |
| 無形固定資産合計 | 785,686 | 724,704 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,153,069 | 5,488,915 |
| 関係会社長期貸付金 | 1,980,852 | 2,011,052 |
| その他 | 293,532 | 280,730 |
| 貸倒引当金 | △64,140 | △57,120 |
| 投資その他の資産合計 | 7,363,312 | 7,723,578 |
| 固定資産合計 | 12,785,521 | 13,289,060 |
| 資産合計 | 21,370,175 | 21,556,718 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,505,769 | 996,449 |
| 短期借入金 | 1,182,696 | 1,215,226 |
| 未払法人税等 | 203,136 | 208,671 |
| 賞与引当金 | 110,896 | 100,854 |
| 役員賞与引当金 | 9,100 | - |
| その他 | 725,019 | 916,316 |
| 流動負債合計 | 3,736,618 | 3,437,518 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,551,216 | 1,692,005 |
| 役員退職慰労引当金 | 183,175 | 170,593 |
| 退職給付に係る負債 | 203,125 | 80,758 |
| 資産除去債務 | 66,603 | 66,916 |
| その他 | 807,716 | 962,699 |
| 固定負債合計 | 2,811,837 | 2,972,973 |
| 負債合計 | 6,548,455 | 6,410,491 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,524,460 | 1,524,460 |
| 資本剰余金 | 2,530,171 | 2,530,171 |
| 利益剰余金 | 10,016,829 | 10,157,759 |
| 自己株式 | △714,805 | △714,868 |
| 株主資本合計 | 13,356,655 | 13,497,521 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,020,619 | 1,221,078 |
| 為替換算調整勘定 | 77,752 | 106,530 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △19,219 | △17,179 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,079,152 | 1,310,430 |
| 少数株主持分 | 385,910 | 338,275 |
| 純資産合計 | 14,821,719 | 15,146,227 |
| 負債純資産合計 | 21,370,175 | 21,556,718 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 10,175,273 | 9,826,474 |
| 売上原価 | 7,932,862 | 7,880,672 |
| 売上総利益 | 2,242,410 | 1,945,801 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,680,999 | 1,578,864 |
| 営業利益 | 561,410 | 366,937 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 24,213 | 21,821 |
| 受取配当金 | 27,366 | 31,495 |
| 為替差益 | - | 30,027 |
| 持分法による投資利益 | 20,828 | 40,003 |
| その他 | 5,561 | 25,753 |
| 営業外収益合計 | 77,969 | 149,102 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,782 | 18,199 |
| 為替差損 | 3,980 | - |
| その他 | 2,087 | 1,260 |
| 営業外費用合計 | 16,850 | 19,460 |
| 経常利益 | 622,529 | 496,578 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 11,540 | - |
| 特別利益合計 | 11,540 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 21 | 125 |
| 投資有価証券評価損 | - | 355 |
| 特別損失合計 | 21 | 480 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 634,048 | 496,098 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 257,395 | 213,831 |
| 法人税等調整額 | 11,490 | 17,673 |
| 法人税等合計 | 268,885 | 231,504 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 365,162 | 264,593 |
| 少数株主損失(△) | △13,028 | △70,522 |
| 四半期純利益 | 378,191 | 335,115 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 365,162 | 264,593 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 187,463 | 200,459 |
| 為替換算調整勘定 | △26,070 | 50,858 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 2,040 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 936 | 805 |
| その他の包括利益合計 | 162,330 | 254,164 |
| 四半期包括利益 | 527,493 | 518,757 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 552,253 | 566,393 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △24,760 | △47,635 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 634,048 | 496,098 |
| 減価償却費 | 70,021 | 156,374 |
| のれん償却額 | 53,994 | 53,994 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △11,647 | △10,042 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △5,090 | △9,100 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △46 | △6,899 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △46,477 | - |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 4,658 | △12,582 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | - | △45,380 |
| 受取利息及び受取配当金 | △51,580 | △53,317 |
| 支払利息 | 10,782 | 18,199 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △20,828 | △40,003 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △11,540 | - |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | - | 355 |
| 固定資産除却損 | 21 | 125 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 283,254 | 82,925 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 230,780 | △43,284 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 70,653 | 6,028 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △248,502 | △511,095 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △132,327 | 35,848 |
| その他 | 2,067 | △15,435 |
| 小計 | 832,242 | 102,809 |
| 利息及び配当金の受取額 | 78,935 | 78,924 |
| 利息の支払額 | △11,554 | △17,387 |
| 法人税等の支払額 | △210,113 | △209,083 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 689,510 | △44,737 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △613,478 | △88,233 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,410 | △822 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △648 | △650 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 133,000 | - |
| 長期貸付金の回収による収入 | 469,327 | 490,027 |
| 長期貸付けによる支出 | △511,676 | △530,000 |
| 子会社株式の取得による支出 | △3,155 | - |
| その他 | 398 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △532,644 | △129,679 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △10,000 | 29,200 |
| 長期借入れによる収入 | 366,450 | 172,624 |
| 長期借入金の返済による支出 | △119,848 | △71,348 |
| 自己株式の取得による支出 | △374 | △63 |
| 配当金の支払額 | △268,847 | △241,725 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △32,620 | △111,312 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4,393 | 4,315 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 119,852 | △281,413 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,611,571 | 2,495,415 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,731,423 | 2,214,001 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 精糖 | 機能性素材 | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,687,177 | 3,188,004 | 300,091 | 10,175,273 | — | 10,175,273 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 6,582 | 7,146 | 555 | 14,284 | △14,284 | — |
| 計 | 6,693,760 | 3,195,150 | 300,646 | 10,189,557 | △14,284 | 10,175,273 |
| セグメント利益 | 607,126 | 43,898 | 259,553 | 910,579 | △349,168 | 561,410 |

(注) 1 セグメント利益の調整額349,168千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 精糖 | 機能性素材 | 不動産 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,339,046 | 3,188,281 | 299,146 | 9,826,474 | — | 9,826,474 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | 827 | 827 | △827 | — |
| 計 | 6,339,046 | 3,188,281 | 299,973 | 9,827,301 | △827 | 9,826,474 |
| セグメント利益又は損失(△) | 585,495 | △144,027 | 265,821 | 707,289 | △340,352 | 366,937 |

(注) 1 セグメント利益の調整額340,352千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。